代行入札価格ご提案

1. Lot No 63:新国立銀行券 (PMG-53)

□希少性:★★★★★

□人気:★★

□将来性:★★★

(すべて5段階評価)

十評

説明文にあるように、日本政府から本紙幣の印刷を受託していたアメリカの印刷局から、流出した紙幣です、一般によくみられる見本(Specimen)でないことも説明文の通りです。一点物ですので過去の落札事例はもちろんありません、この紙幣の通常紙幣はときどきオークションに出てきますが、状態の悪いものが大半です、落札価格は3-5万円といったところです、でもこの価格はまったく参考になりません。

本銘柄ではありませんが、10 年ほど前にアメリカのオークションで、これに類する紙幣が大量に出品されたことがありました、第二次世界大戦後の GHQ 統治下で、サンプルとして造られた5種ほどの紙幣でした、いずれも仏像がデザインされたものでしたが、GHQは旧日本軍を連想させると却下しました、そのサンプル紙幣が関係者(おそらく当時のGHQ 職員)に流出し、その子供か孫がオークションに出品したのだと思います。さて問題はその落札額です、今回の63 同様のサンプル品一点物もあれば、単なる見本紙幣もあり、さまざまな性格の紙幣がいっぺんに出てきたのですが、63 同様サンプル紙幣はそのうち10 枚内外(種類にして5種ほど)だったと記憶しています、GHQ 関連紙幣は全部で30 ロットほどあり、それを日本のコイン商2社が落札しました。両社の落札総額は約4000万円だときいてます、上記のように見本紙幣(比較的安価)も含まれているので、この4000万円すべてがサンプル紙幣ではありませんが、まあ大雑把に申し上げて半分(2000万円)ほどがサンプル紙幣10 枚分だったのではないかと思います、2000万円を10でわれば200万円、これが当時の落札単価の目安です。

GHQ 紙幣は5種ほどありましたので希少性絵は今回のほうが上です、また年代やストーリーにも違いがあります、事例がないので想像するしかないのですが、まああれやこれや加味して400-600万円ほどではないかと思います。

■落札予想価格:400-600万円(事例がないので幅広く取りしました)

2. Lot No 283:雲上の女神(PCGS-MS63PL)

□希少性:★★★□人気:★★★★□将来性:★★

□相場トレンド:やや下げ気味

寸評

日本人の人気を集め一昨年に相場のピークを迎える、最近は下げ気味、このコインにはプルーフと通常貨があり合計 1.6 万枚以上造られました、決してレアなコインではなく、オークションでは常連です。10 年ほど前まではヨーロッパで最も安く買えるアンティーク・コインといわれていましたが上記のように近年は状態の良いものなら 100 万円をこえます、ただし一時の人気はありません。このコインは表面にヘアラインが目立つものが多いので注意が必要です。この個体はヘアラインが少ないほうです。また本コインは PL(プルーフライク)です、PL は通常貨のうち刻印がヘタっていない初期のころに打たれたものをさし、まるで贈呈用に造られたプルーフのようなコインであることを表しています、あくまで鑑定人の主観ですが・・・、この PL は本コインにとってプラスになります。

■落札価格予想:170-210 万円

近年の落札実績

·2019.8 AW No19 MS63:75 万円⇒105 万円

·2019.8 海外 MS62: CHF 10,000 ⇒ Unsold

· 2019.8 海外 MS62: EUR 4,800

· 2019.4 AW No17 PF62 Cameo: 80 万円⇒150 万円

·2019.8 海外 MS61PL: AUD3,000⇒AUD6,800

·2019.1 AW No15 MS62: 60 万円⇒91 万円

·2019.1 AW No15 PF63: 100 万円⇒210 万円

·2019.1 海外 MS61PL: USD5,500

注) AW はオークション・ワールド、:の次に書かれている金額の左側はスタートプライス、右側数字がハンマープライスです。

上記で特に参考になるのは赤字の3つです、上記のように最近のこの銘柄は下落傾向になります、また泰星オークションはAWなどほかの国内オークションに比べ、オークション会社のバイヤーズプレミアム(手数料)が高く(ほかの国内は11%、泰星は16.5%)、そのぶん安く落札される可能性があります、そのような点を加味し、このコインの予想落札価格を170万円から210万円とさせていただきます。

3. Lot No 353:ハンブルグ、貿易産業展示会記念 12 と 1/2 ダカットメダル(PCGS-MSP63)

□希少性:★★★★

□人気:★★★

□将来性:★★★

□相場トレンド:やや上昇気味

寸評

1889年に造られた大型金メダルです、メダルは公式の通貨ではなく、コイン収集化の収集対象にはなりにくいです、でも発行枚数が少なく、刻印やデザインもきれいなので一定の人気はあります、近年日本の新興コイン商が大型メダルの相場をあおっており、それも相場の上昇要因になっています。

■落札価格予想:140-180 万円

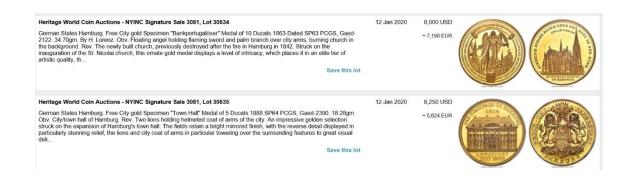
近年の落札実績

メダルは発行枚数が少ないものが多く、このコインも過去事例では以下一件しか見当たり ませんでした、しかもアクセサリーに加工していますので、あまり参考にはなりません。

·2019.5 月 海外、加工、EUR 3,000⇒EUR3,300



同じ銘柄ではありませんが、ハンブルグの金メダルはたびたびオークションに出てきます、以下 2 例です。



サイズやデザインでメダルの価格は決まりますが、上の二つは参考になると思います、上のほうが 10 ダカット(本コインより一まわり小さい)、下のコインは 5 タ カットです、落札価格は上が 8000 ドル(状態は SP63)、下が 6250 ドル(SP64)です。本来なら 100-130 万円程度といいたいところですが、デザインが素晴らしく、特に日本人が高値まで札を入れてくる可能性が高いです。

以上から本コインの昨札価格は140万円から180万円と予想します。

4. Lot No 360:リューベック、ベネメレンティ勲章 23 ダカットタイプ(NGC-PF62 CAMEO)

□希少性:★★★★★

□人気:★★

□将来性:★★

□相場トレンド:類例なし

寸評

コインオークションに勲章が出てくることはそう多くはありません、でも昨年はノーベル賞メダルが出てきましたし、オリンピックのメダルもたまにでてきます。ノーベル賞は確か 1 億円以上の値がつきましたがそれは例外で、一般に勲章類はさほど値が付きません。 今回の勲章は初見ですし、過去のオークションカタログをみても出てきません。なので想像するしかないのですが、80 グラムと大型であること、NGC で PF62CAMEO とまずまずの高鑑定であること、金の相場の上昇傾向、希少性、デザインの美しさ など加味して地金価格の 4 倍、210 万円を中心として前後 20 万円といたしました。

■落札価格予想:190-230 万円

5. Lot No 423:ジョージ 4 世 2 ポンド (NGC-MS65+)

□希少性:★★★

★★: 戻人□

□将来性:★★

□相場トレンド:やや下げ気味

寸評

ジョージ4世の2ポッパ通常貨です、プルーフなら2ポッパでも200万円をこえますが、通常貨は残存数も多くオークションでは常連です。この個体は2019.8月にアメリカで行われたリテージ・オークションに出品されたコインと同じ個体です。以下落札時歴です。

Heritage World Coin Auctions - ANA Signature Sale 3075, Lot 32226

Great Britain George IV gold 2 Pounds 1823 MS65+ NGC, KM690, S-3798. An incredibly high-grade representative of this one-year type, Pistrucci's last depiction of George IV and the first year of the 2 Pound's production. A hair's breadth from highest graded (the joint finest both MS66), this example boasts intense mith utset closking the entire planned and a pristine representation of Pistrucci's superb engraving with every detail sharply rendered. Fully deserving of its premium gem designalt...

15 Aug 2019

7,500 USD





この銘柄はここ数年やや下げ気味です、ヘリテージのバイヤーズプレミアムは 20%で、輸入する際に輸入消費税 8%(当時)かかりました、為替レートは 1 ドル=110 円だったので、日本人が購入する場合 107 万円です。今回の BP は 16.5%なので、逆算するとハンマープライスは 92 万円です。近年の落札事例で MS66 が 11,000 ドルというのがあります、日本逆算で 154 万円です、上記は妥当だとおもいます。

■落札価格予想:82-102万円

6. Lot No 545:ハンガリー、聖ジョージとドラゴン 10 ダカットタイプ (NGC-AU58)

□希少性:★★★★

□人気:★★★★

□将来性:★★★

□相場トレンド:上昇傾向

寸評

このコインはメダリックといってメダル的なコインです、実際に使用されていた可能性もありますが、主にお守りやアクセサリーとして使われてきたようです、ヨーロッパの17世紀から18世紀にかけて造られた大型金貨は人気上昇中で、この銘柄も根強い人気があります、でも上記のような事情もあって、同時代の10ダカット金貨に比べると安価で売買されています。ちなみに同時代の公式10ダカット金貨なら、この程度の状態で1500万円をくだりません。

■落札価格予想:130-180 万円

近年の落札実績

- ・2019.9 海外 AU(ハダカ): EUR13,000
- ·2019.1 海外 AU58: EUR9,000(以下写真あり)
- ·2018.4 海外 AU58: EUR9,250(以下写真あり)
- ・2018.12 NCA No48 UNC(ハダカ): 350万円⇒470万円
- ・2018.1 AW No15 AU(ハダカ): 100万円⇒520万円

注) AW はオークション・ワールド、:の次に書かれている金額の左側はスタートプライス、右側数字がハンマープライスです。

Warin Global Investments S.A. - Online Auction 19, Lot 201

(*) Hungary. (1690-1726). Medallic 10 Ducats. NGC AU 58 Medallic 10 Ducats AU 58 Metal: Gold. Mintmaster Christian Herman Roth. Kremnitz Mint. Rare, Often given as a talisman this one is not signed but geniune, Huszar-46. Starting Price. 8000 EUR...

ave this lot

16 Jan 2019 9,000 EUR



Warin Global Investments S.A., Online Auction 12, Lot 178

Note: This lot appeared in the auction as lot number: 129b Hungary, (1690-1726). Medallic 10 Ducats. NGC AU 58 Medallic 10 Ducats AU 58 Metal. Gold. Mintmaster Christian Herman Roth. Kremnitz Mint. Rare. Often given as a talisman this one is not signed but genture. Huszar-46. Starting Proc. 8000 EUR.

Save this lot

23 Apr 2018



このコインの落札相場にみられる特徴は国内の高額落札です。海外でも 20,000 ドルを超えるケースはありますが、それは UNC クラスの高状態な個体の場合です。日本では AU 程度のハダカのコインでも、上記のように 500 万円を超えるケースがあり、追いかけすぎてはなりません。今回の個体は AU58(極美品+)であり、海外であればせいぜい 10,000 ドル程度ガハンマープライスになるコインです、その場合逆算すれば国内ハンマープライスは125 万円ほどになります、予想レンジは±25 万円で、100-150 万円ほどが妥当な価格ではないでしょうか。日本人プレミアムを 30 万円のせても 130-180 万円ほどだとおもいます。でも多分それでは落札できないような気がします、むしろこのコインなら海外で落札したほうがいいように思います。

(株) 銀座なみき FP 事務所 2020.○月○日